



SCOUTING

2018
No.727
9



なろう。一人前に。
キャンペーン実施中

特集

第17回

日本スカウトジャンボリー 記念アルバム号



SCOUTS®
Creating a Better World



そなえよつねに
ボーイスカウト

17th NIPPON SCOUTS JAMBOREE

第17回日本スカウトジャンボリー 冒険 ～能登のチカラ未来へ～



能登半島の先端・珠洲市に、日本の未来を担うスカウトたちが集結した。第17回日本スカウトジャンボリー。スタッフを合わせた参加者は珠洲市の人口に迫る1万3,000人に達した。2018年の夏は全国各地で観測史上最高の気温を記録する「暑い夏」だったが、大会期間中の珠洲は文字どおり熱気に包まれた。

8月4日の参加隊入場から10日の退場まで、会場の内外でスカウトたちの歓声がこだました。テーマは「冒険 ～能登のチカラ未来へ～」。スカウトたちは班に分かれてさまざまな

冒険にチャレンジした。地の利を生かした数多くの海のプログラムが能登ならではの醍醐味だった。

開会式から閉会式までの期間が、12年ぶりに日本スカウトジャンボリーの標準である5日間に戻った。2015年に山口県で開催された第23回世界スカウトジャンボリーに備えて、15回と16回は期間が延長されたからだ。

期間が短くなることには寂しさも感じられたが、結果は逆。かえって密度が凝縮され興奮

SCOUT JAMPORIEE ボリー



大会概要

| | |
|------|--|
| 名称 | 第17回日本スカウトジャンボリー |
| 場所 | 石川県珠洲市「りふれっしゅ村 鉢ヶ崎」 |
| 会期 | 2018年8月4日(土)～8月10日(金) |
| テーマ | 冒険～能登のチカラ未来へ～ |
| 参加国数 | 13の国と地域(日本を含む) |
| 参加人数 | 13,414人 内訳:国内参加者12,852人、外国参加者562人 |
| 見学者 | 5,463人(5日間合計) |
| 日程 | 8月2日(木) 大会運営スタッフ入場 3日(金) 準備、トレーニング 4日(土) 参加隊入場・設営 5日(日) 設営、開会式 6日(月) プログラム 7日(火) 信仰奨励、ジャンボリー大集会 8日(水) プログラム 9日(木) プログラム、閉会式 10日(金) 撤営・参加隊退場 11日(土) 大会運営スタッフ退場 |



が冷める暇がなかった。なにせ1日おきに1万3,000人の参加者がアリーナに大集結するイベントがあったのである。盛り上がりがないはずはない。凜々しいハット姿のスカウトたちが会場を埋め尽くす様子は、まさに圧巻だった。

最高潮に達したのは7日夜の「ジャンボリー大集会」。皇太子殿下のご臨席を仰ぎ、激励のお言葉をいただいた。殿下は第7回日本ジャンボリー以降、過去12回のジャンボリーにご臨席。スカウトとの1泊キャンプも3回経験されている。ご退席される直前には、奥島大会長

の発声で、来年の天皇陛下御即位をお祝いし会場全員で「弥栄」を三唱した。

今回のジャンボリーは国際色も豊かだった。海外からの参加は、12の国と地域から560人と人数は決して多くはなかったが、サブキャンプに分散して日本のスカウトと一緒にキャンプ生活を送るスタイルだったこともあり、交流は一段と深まった。

派遣隊だけでなく自隊で参加できたことも今回のジャンボリーの特色だった。新しい仲間

とのキャンプも楽しいが、日ごろから一緒に活動している仲間とのジャンボリーはまた格別だったに違いない。

次の日本スカウトジャンボリーは4年後の2022年。日本連盟創立100周年の記念すべき年だ。閉会式において次の開催地として「東京」の名が告げられると、アリーナに集まった大観衆からものすごい歓声が上がった。打ち上げられた大輪の花火を見上げながら、珠洲での思い出を噛みしめ、次の東京でのジャンボリーへの期待に胸を膨らませた。



8月5日(日)

開会式

OPENING CEREMONY

参加スカウトによるパフォーマンス、地元の日本放鷹協ほうよう会、石川県立飯田高等学校・珠洲市立緑丘中学校のオープニングアクトにより、会場が熱気に溢れるなかスタートした開会式。テーマは「出発」。

海外から参加した12の国と地域と日本の国旗、各都道府県連盟旗、ガールスカウト日本連盟旗の入場に続き、奥島大会長より「世の中を、“Better World”という今よりもさらに良い立派な社会にしたい。そのためにウッドクラフトとパトローリング、気高き精神をもって頑張ってもらいたい。これから始まるジャンボリー、暑さに負けず楽しい活動ができることを心から期待している」との言葉と開会宣言があった。続いて、国旗掲揚と参加者全員による「ちかいとおきて」の唱和。宮川文部科学大臣政務官からの挨拶、谷本石川県知事に歓迎の言葉をいただいたあと、代表スカウトによる力強い宣誓があった。そして、ステージ脇に高くそびえるやぐらに「ちかいの炎」を灯し、大谷日本連盟特別顧問の挨拶があり、大会が開幕した。この赤々と燃える炎に見守られるなか、大会イメージソング「HORIZON」の制作者「UNBRANFORD」が登場し、これから始まる大会に期待で胸を膨らませたスカウトとともに熱唱した。











キャンプライフ①

CAMP LIFE 1

スカウトたちは、ブロックごとの6つのサブキャンプに分かれて1週間のキャンプ生活を過ごした。キャンプサイトは期間中、班や隊の仲間と多くの時間を過ごす場所。そこは、それぞれの地域の特性やスカウトの個性やスキルがよく表れた場所だった。高々と旗を掲げるところもあれば、地元の特徴となるものを飾るところもあり、全国から集まったス

カウト仲間を自分たちのサイトに歓迎する準備はどこも万全。もちろん、飾りだけではない。今回のジャンボリーは薪を使った炊事。立ちカマドを作る隊もあれば、さまざまな方法を考え工夫してカマドを作る隊も。その他、調理台や乾燥台など1週間の生活に必要なキャンプラフトもそれぞれ作成し、野営技能が存分に発揮されていた。













8月6日(月)、8日(水)、9日(木)

プログラム①

PROGRAM

「チームワーク」「カルチャー」「サバイバル」「マリン」の4つのテーマのもと、会場内には5つのプログラムエリアを設置。サターンエリアでは、2020年に開催される東京オリンピックから新たに加わる競技種目の1つでもあるボルダリング、その他さまざまな特殊用具を使用したスポーツなどに挑戦。ジュピターエリアでは、体力、知力、観察力を駆使して班対抗で競い合うプログラムに取り組んだ。スカウトたちの表情はまさに真剣そのもの。「競い合う」というテーマに基づき、班員の連携を高めていく姿が見られた。アースエリアでは、グラウンドゴルフや奥能登ハイクなど、この地ならではのプログラムに挑戦したほか、キムゲームや計測ポイントリレーなどでは日ごろの活動で培ってきたスカウトスキルを存分に発揮。苦手なスキルがあっても、班の仲間と協力して挑戦すれば怖いものなし。マーキュリーエリアは、スカウトたちの楽しみの1つである水のプログラムが中心だ。ビーチフラッグや海水浴、砂の彫刻など、まるでパカンスを楽しんでいるような雰囲気エリアはにぎわっていた。







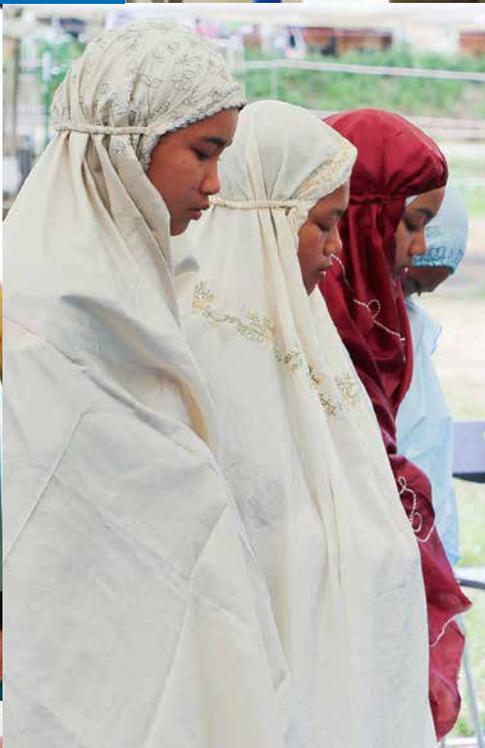


8月7日(火)

信仰奨励

FAITH AND BELIEFS

信仰奨励エリアはさまざまな教宗派によるパビリオンがあり、大きな十字架や鳥居、祭壇など、各教宗派を象徴するものも多く見られた。参加スカウトは自らの信仰する教宗派のブースで信仰を深めることはもちろん、他の教宗派に参加することで多くの宗教や慣習を学び、共通点や相違点を知った。また、8月7日には、アリーナで「教宗派を超えた集い」を実施。信仰心についての話や平和の鐘、そして全員で合唱などを行った。その後、それぞれの信仰に基づき各教宗派に分かれて教宗派別の集いを実施。各教宗派で宗教儀礼などを行い、それぞれの教宗派を超えて世界に広く永く続く平和を祈願した。







会場全景

OVERVIEW









8月7日(火)

ジャンボリー大集会

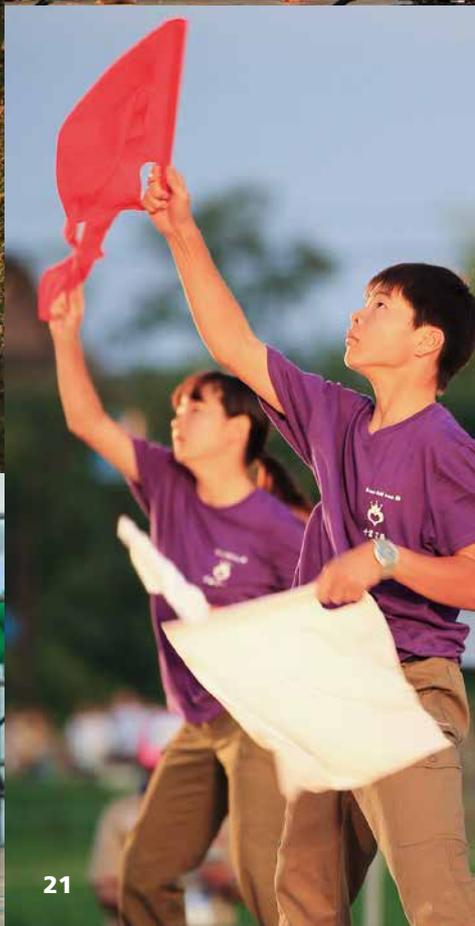
ARENA SHOW

皇太子殿下のご臨席を賜り、「ミライのチカラ」をテーマに行ったジャンボリー大集会。参加スカウトのパフォーマンス、御陣乗太鼓保存会や加賀とびはしご登り保存会による地元の方々のパフォーマンス、陸上自衛隊第10音楽隊の演奏で、会場は珠洲の暑さに負けない盛り上がりを見せた。なかでもボーイスカウト・アンバサダーである野口宇宙飛行士の登場に大きな歓声が上がった。来年、3度目の宇宙飛行が決定している野口宇宙飛行士からは、スカウト時代の思い出話などに加え、「能登のチカラ、スカウトのパワーを、未来につなげるだけでなく、私が来年宇宙にもっていきま

す」というコメントをいただいた。

皇太子殿下より、過去の大会へ参加したときの思い出やジャンボリーでスカウトたちに学んでほしいこと、そして能登の地についてなどのお言葉を頂戴した。続いて各ブロックや外国派遣団により、それぞれが大会前から練習を重ねてきた特色あるパフォーマンスが披露された。どれもプロ顔負けの演技で、会場は興奮に包まれた。

締めくくりは「吉田山田」によるゲストライブ。歌に込められたたくさんのメッセージを噛みしめ、それぞれが仲間や家族を想う時間を過ごした。









キャンプライフ②

CAMP LIFE 2

ワッペン交換や友情の証に集めたサインは、単に記念ではなく大切な宝物に。班や隊、そして県連盟や国籍を超えた多くの仲間との交流は、その一瞬一瞬が特別で、かけがえのない時間だ。各サイトでは、他隊との交歓会やキャンプファイアも連日行われ、朝から晩まで笑顔と楽しい会話や歌があふれていた。また、各サブキャンプ広場ではさまざまな催しがあり、なかなか集まることのない同じブロックのメンバーとの交流も盛

んに行われ、絆を深めた。

期間中、ジャンボリー会場のメイン通りに地元珠洲市飯田町の「燈籠山」が登場。そこには、法被を着て地元の方々に交じり、全長約16mの燈籠山曳き体験をするスカウトの姿も。海外のスカウトも参加し、国内外のスカウトと地元の方々とが力を合わせて燈籠山を曳きながら、スカウトの「ヤッサー、ヤッサー」という掛け声がこだました。









8月6日(月)、8日(水)、9日(木)

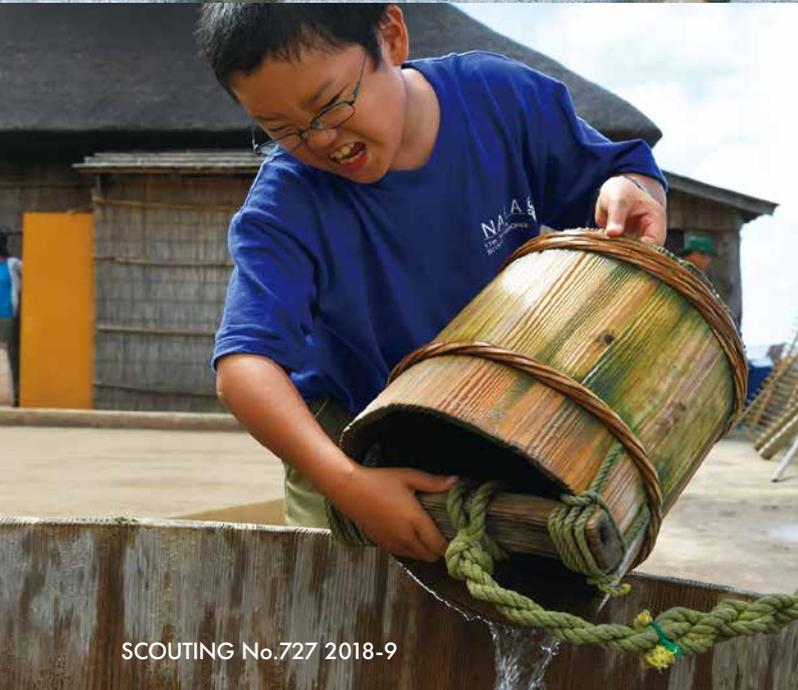
プログラム②

PROGRAM 2

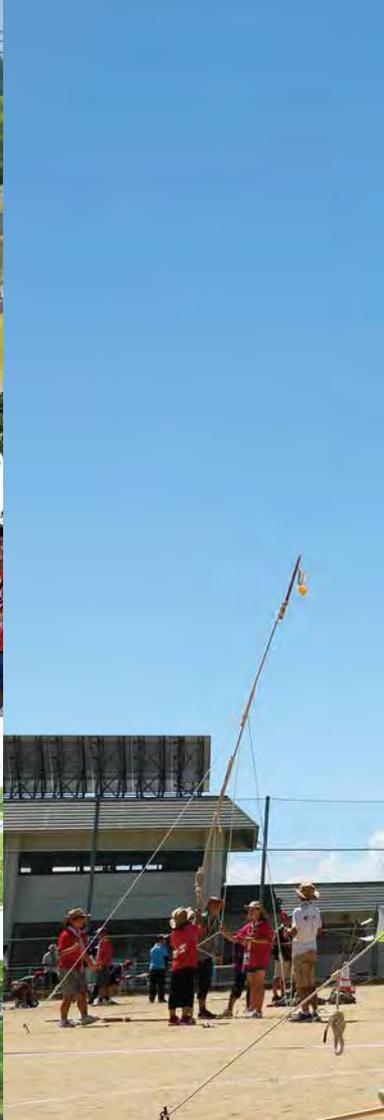
ヴィナスエリアは多くの企業や団体の協力を得て15を超えるブースを設置。健康、科学、環境、スポーツ……。現代社会や未来に向けた取り組みを体験することで、新たな気づきの場にもなり、興味や関心、自分自身の将来を考えるきっかけとなった。また、ヴィナスエリアの横にはジャンボリースカウトセンターがあり、ここでは各県連盟や外国派遣団による展示やステージでのパフォーマンスによって、さまざまな取り組みや文化を知ることができた。

エキスカッションは、場外で、塩づくりや洞窟探索など、能登の自然、歴史と文化に触れる体験プログラム。また自衛艦の見学など、普段はなかなか体験することのできない内容に、スカウトたちの表情には学びのまなざしと笑みがあふれ、会場に戻ってきてからも高揚感に包まれた様子でキャンプサイトに帰って行った。









ジャンボリーゲーム日本一

JAMBOREE GAME NIPPON-ICHI

ジャンボリーゲーム日本一は、日ごろの活動で培ってきたスカウトスキルを使い、仲間と協力することで、速さやその数値などを競い、日本一の班を決めるというもの。今後のジャンボリーでも継続して実施していく。「通信(手旗信号リレー)」「ロープ結び(班旗立て)」「キャンピング(火起こし)」「コンパス(コンパスナビゲーション)」の4種目を実施。与えられた条件のもと、各種目とも個人のスキルはもとより班員

全員で協力し、工夫を凝らして挑戦。参加したすべての班が、日本一を目指して奮闘した。

閉会式に先がけて表彰式を開催。4種目のゲームそれぞれの部門で1位になった優秀班に多くの仲間から弥栄が贈られるとともに、次回のジャンボリーまで制服に着用できる特別な記章が授与された。優秀班の班員は、誇りと自信を胸に、今後さらにスカウト活動に励んでいくことだろう。





各種目の日本一



通信

手旗信号リレー

- BS 5人班** 大阪連盟 茨木第1団 ペンギン班
- VS 5人班** 埼玉県連盟 川口第21団、戸田第1団
ベンチャーバッファロー班
- VS 6人班** 東京連盟 目黒第1団、7団 紅班
- VS 8人班** 徳島、香川、高知合同隊 ネコ班



ロープ結び

班旗立て

- BS 5人班** 東京連盟 国分寺第1団
タツノオトシゴ班
- BS 6人班** 神奈川連盟 川崎第43団 キツツキ班
- BS 7人班** 静岡県連盟 富士第8団 ワシ班
- BS 8人班** 兵庫連盟 伊丹第2団、3団、10団、
宝塚第1団、2団、川西第6団、
篠山第1団 シロクマ班
- VS 5人班** 静岡県連盟 浜松東第30団 チャー班
- VS 6人班** 兵庫連盟 兵庫第10隊
ホワイトイーグル班
- VS 7人班** 東京連盟 世田谷第14団
シュナウザー班
- VS 8人班** 神奈川連盟 藤沢第18団 カモメ班



キャンピング

火起こし

- BS 5人班** 神奈川連盟 横浜第3団、第77団
ウォーター班
- BS 6人班** 大阪連盟 高槻第7団 オオカミ班
- BS 7人班** 京都連盟 京都第29団、77団、92団
オオカミ班
- BS 8人班** 奈良県連盟 大和高田第7団 タン班
- VS 5人班** 東京連盟 品川第6団 ヤマネコ班
- VS 6人班** 福岡県連盟 粕屋第10団
タスマニアデビル班
- VS 7人班** 静岡県連盟 掛川第2団 卵かけご班
- VS 8人班** 東京連盟 練馬第3団、8団 ネコ班



コンパス

コンパスナビゲーション

- BS 5人班** 大阪連盟 茨木第2団 オオカミ班
- BS 6人班** 埼玉県連盟 さいたま第8団
ウグイス班
- BS 7人班** 東京連盟 立川第3団、4団 ウルフ班
- VS 6人班** 宮城県連盟 泉第1団、塩釜第1団
おにぎり班
- VS 8人班** 広島県連盟 広島第1隊 しか班



8月9日(木)

閉会式

CLOSING CEREMONY

西の空に陽が沈み始めたころ、スカウトによるパフォーマンスや来夏アメリカで開催される第24回世界スカウトジャンボリーのプロモーションなどで最後の夜のイベントの幕が上がった。

テーマは「新たな扉」。各国連盟旗や各県連盟旗が入場し、その旗に囲まれながら、代表スカウトによる未来に向けたメッセージの発表と膳師野営長による閉会宣言が行われた。連盟歌斉唱に続き、国旗降納。日本連盟創立100周年という節目の年に開催する第18回日本スカウトジャンボリー開催地の発表で、スクリーンに「TOKYO」の文字が浮かんだ瞬間、会場中が沸いた。ジャンボリー旗が石川県連盟から東京連盟に引き継がれ、山内東京連盟理事長から全国のスカウトへメッセージが伝えられた。

今大会の振り返り映像が流れ、ファイナルステージは今大会の応援サポーターを務めた「ほくりくアイドル部」によるライブ。最後にはスカウトもステージに上がり、大会テーマソング「能登のチカラ未来へ」を会場がひとつになって大合唱。晴れ渡った夜空に盛大に花火が打ち上げられ、いよいよ大会最後の時を迎えた。スカウトたちは大会で得た多くの挑戦と貴重な体験、人のつながりを胸に、帰路についた。









大会スタッフ

STAFF

国内外から参加した大会スタッフは約1,800人。9つの部署に分かれて、それぞれの業務に就いた。参加スカウトたちを元気に出迎え、滞りなく業務を進めた成人指導者たちの情熱と真心が大会を成功へと導いてくれた。



後援、支援、協力等

後援 文部科学省／防衛省／石川県／石川県教育委員会／珠洲市／珠洲市教育委員会

支援 陸上自衛隊第10師団

プログラム協力 **プログラムエリア**(順不同) 石川県ユニセフ協会／カーボン・オフセットキャンペーン実行委員会／海上自衛隊第44掃海隊掃海艇のとじま／キャプテンスタッグ株式会社／クライミングジムPUMP／グロープライド株式会社／自衛隊石川地方協力本部／シスコシステムズ合同会社／中央大学商学部渡辺ゼミ／リコロ・プロジェクト／公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構／日本光電工業株式会社／公益社団法人日本鍼灸師会／富士通スカウト倶楽部／株式会社ヤクルト本社

信仰奨励(順不同) 神社本庁／天台宗／浄土真宗本願寺派／高野山真言宗／浄土宗／真宗大谷派／本門佛立宗／立正佼成会／曹洞宗／孝道教団／日蓮宗／日本聖公会／末日聖徒イエス・キリスト教会／日本カトリック教会／日本基督教団／金光教／世界救世教／天理教／仏教スカウト協議会／日本カトリックスカウト協議会／全国神社スカウト協議会

皇太子殿下 お言葉

挨拶に先立ち、この度の平成30年7月豪雨により亡くなられた方々に、心から哀悼の意を表しますとともに、ご遺族と被災された方々にお見舞いを申し上げます。被災地の復旧が一日も早く進むことを願っております。また、今回の災害にあたり、被災地のスカウトの皆さんをはじめ、全国のスカウトの皆さんが、さまざまな支援活動に尽力されていると伺いました。皆さんの活動に深い敬意を表します。

第17回日本スカウトジャンボリーの大集会に、国内外から参加されたスカウトの皆さんとともに出席できることを嬉しく思います。

私は、第7回大会以来、ジャンボリー会場を訪れていますが、毎回皆さんが、日ごろからスカウト活動への参加を通じて自らの成長を促し、将来、よき社会人となるために研鑽され、大会のさまざまな活動に積極的に、また、真剣に取り組んでいる姿を頼もしく感じます。

私自身、皆さんと同じ年頃にジャンボリーに参加し、野営体験などのスカウト活動の貴重な体験をしたことを懐かしく思い出します。

皆さんが、さまざまな活動に協力して取り組むことで、スカウト同士の友情を深められることはもちろん、海外からのスカウトと交流し、国際的な視野を広げることは、いろいろな形で必ず皆さんの将来に大きく役立つものとなるでしょう。

ここ能登の地は、長い時間をかけて自然と調和した人の営みがつくりあげた里山里海を有しています。能登の豊かな自然と文化に触れながら、多くの活動に参加し、貴重な思い出を作ってください。

スカウト運動の一層の発展と、わが国、そして世界の青少年の健全な育成が図られることを願い、大集会に寄せる言葉といたします。



来賓

GUEST

政府、BS 振興国会議員連盟、国会議員、省庁、関連団体、スポンサー、協力企業および団体、石川県、珠洲市など、多くの来賓の方々にご来場いただき、各式典においても多くの方々からスカウトたちにメッセージをいただいた。



ウィリアム・ハガティ
駐日米国大使



野口聡一
JAXA 宇宙飛行士 (ボーイスカウト・アンバサダー)



逢沢一郎
BS 振興国会議員連盟会長



宮川典子
文部科学大臣政務官



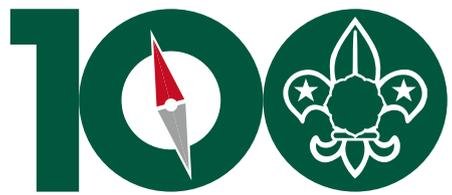
山本ともひろ
防衛副大臣



谷本正憲
石川県知事



泉谷満寿裕
珠洲市長



YEARS OF SCOUTING
IN JAPAN

1922 - 2022

18th NIPPON SCOUT JAMBOREE



**18NSJ 2022年
夏開催**

第18回日本スカウトジャンボリーは、日本連盟創立100周年を迎える2022年の夏、東京で開催することとなりました。都市で行う新たなコンセプトのもと、東京ならではの大会を目指し、準備していきます。記念となるこのジャンボリー、皆さんとともに盛り上げていきましょう。

新ボーイスカウト会館 10月オープン

新スカウト会館での業務は、10月1日(月)より開始する予定です。詳細はホームページ等でお知らせしてまいります。なお、現ボーイスカウト会館での業務は9月末をもって終了いたします。

※スカウトミュージアム・スカウトライブラリーは9月2日(日)をもって閉館となります。



8月下旬現在

新住所 〒167-0022 東京都杉並区下井草4丁目4番3号

アクセス 西武新宿線 井荻駅より徒歩約10分(約1.0km)
JR 中央線 荻窪駅より徒歩約20分(約1.8km) / またはバス乗車。
「中瀬中学校」(乗車時間6分)下車、徒歩約1分

SCOUTING デジタル配信しています！



機関紙「スカウティング」のデジタル版(PDF)を、読者の皆さんを対象に配信しています。デジタル版は、文字そのままコピーできますので、さまざまな資料に、より簡単に引用できるほか、タブレット端末などに入れ、いつでも読むことができます。ぜひご利用ください。



ID: scouting-magazine
PASS: sonaeyotuneni
URL: <https://www.scout.or.jp/scoutingmagazine/issue/>

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

『スカウティング』2018年9月号 No.727 平成30年9月1日発行(奇数月1日発行)

発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 〒113-8517 東京都文京区本郷1-34-3 <https://www.scout.or.jp>

『スカウティング』は、全国のボーイスカウト指導者(隊指導者、団委員、スカウトクラブ構成員、地区・県連盟・日本連盟役員)に1冊お送りしています。加盟登録住所にお送りしますので、住所の誤り、変更がある場合は団での登録住所変更の手続きをお願いします。登録システムに伴い、①4月～8月に新規、追加登録申請が承認された場合:5月号から当該月号を同封にて送付(例:8月承認の場合は9月号に5月号、7月号を同封) ②9月～翌年3月に登録申請が承認された場合:11月号から当該月号を同封にて送付。9月以降の「追加登録」で、5月号～9月号をご希望の場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部にご相談ください。バックナンバーの在庫がある場合はお送りいたします。発行月の前月10日以降は、送付作業工程に合わないため、当該月号は次号に同封されます。なお本誌の購読料は、登録料に含まれています。上記以外の方も別途購読いただくことが可能です。詳しくはボーイスカウト日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp> から、スカウティング誌のページをご覧ください。

©公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 2018 写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部(TEL:03-5805-2903)までご連絡ください。



今度はみんなでひとつ飛び!!
飛行機で行く

能登の旅

羽田空港⇄のと里山空港
1日2往復

片道 **60分**

のと里山空港



羽田空港



全国各地から羽田空港乗り継ぎで
とっても便利!!

乗継割引運賃で最大約8割引!!
全国各地から能登まで約3~4時間!!

見附島

能登のキリコ祭り

千里浜なぎさドライブウェイ

白米千枚田

能登の旅はのと里山空港 ふるさとタクシーで!

予約・
乗合制

- 飛行機の発着に合わせて、のと里山空港と能登各地を送迎!
- お一人様から運行!
- 定額・低料金でとってもおトク!



ふるさとタクシー

子育て家庭のご旅行に 10,000円のキャッシュバック!

- お子様(3歳以上の未就学児)が、羽田・のと里山便を往復利用で10,000円キャッシュバック!
- ※ お子様1名につき大人1名以上の同伴が条件となり、事前申込(先着順)が必要となります。

のと里山 子どもサポート

2019年3月31日
(復路搭乗日) まで!



レンタカー 3,000円 キャッシュバック キャンペーン

- ① 金沢~能登をレンタカー利用
 - ② 羽田・のと里山便を片道利用
 - ③ 石川県内に1泊以上宿泊
- のすべてを満たす方に3,000円キャッシュバック!

2019年3月31日
(レンタカー返却日) まで!

のと里山 キャッシュバック

能登の旅情報を1冊にまとめた 「ぶらり能登ガイドブック」を ご自宅へお届け

無料

- おすすめの観光スポット
- おすすめのモデルコース
- 使いやすい能登詳細地図 など

ぶらり能登 請求





18th
NIPPON SCOUT
JAMBOREE

See you at the next Jamboree
in Tokyo!



17th NIPPON SCOUT JAMBOREE

Supported by

ゴールドスポンサー

Canon



Yakult

シルバースポンサー

ICOM

LIVEPHOTO
THE INTERNATIONAL AIR PHOTO INC.
国際航空写真株式会社

SONY



オフィシャルサプライヤー

オリオン電機株式会社 / ブラックマジックデザイン株式会社 / 平和精機工業株式会社 / 北陸先端科学技術大学院大学 (JAIST)

SCOUTING 2018/9

727

スカウトイング
昭和33年12月15日 第3種郵便物認可
平成30年9月1日発行(奇数月1日発行)

発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
〒113-8517 東京都文京区本郷1-34-3
電話 03(5805)2561(代)

定価 ¥200 (税込)
郵便振替 00130-1-56119
口座名義 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

